

# 令和3年度 政策研究成果発表会

彩の国さいたま人づくり広域連合では、昨年5月から「SDGs時代の地域づくりの担い手創出」をテーマとして「産民学官・政策課題共同研究」を実施しています。

このたび、研究成果がまとまりましたので、以下のとおり研究成果発表会を開催いたします。併せて、研究テーマに関連する有識者の基調講演も実施します。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

日時

プログラム

令和4年2月14日(月)

13:00~16:00

▶ 13:05 - 14:05

基調講演

▶ 14:15 - 15:35

共同研究の成果発表

## 基調講演

### 「よりよい地域づくりに向けて自治体との協働に必要なこと —市民社会団体の視点から—」

講演講師

にった えりこ  
**新田 英理子 氏**

一般社団法人

SDGs市民社会ネットワーク 理事・事務局長

【略歴】

高校卒業まで富山県高岡市で過ごし、大学時代は京都へ。東京の民間企業の社員教育部門に3年半勤務。退職後環境NPOなどでの嘱託スタッフやボランティアを経て98年4月より日本NPOセンターに勤務。14年8月から17年3月まで事務局長。17年4月から19年3月まで、一般社団法人SDGs市民社会ネットワークと日本NPOセンターを兼任。主にNPOに関する相談、研修、全国大会などの企画・運営とNPO法人制度に関するアドボカシー事業を行う。また、行政や企業のNPOとの連携・協働プログラムの相談や企画運営を行う。パートナーシップが最大限発揮されSDGsが達成されることを目指し、活動中。

他に、京都精華大学評議員、科学技術(JST)STI for SDGs審査員、足立区協働・協創パートナー基金審査会審査委員長、法政大学人間環境学部非常勤講師(NPO・ボランティア論)等

## 共同研究の成果発表

### 「SDGs時代の地域づくりの担い手創出」

—新たな働き方・暮らし方や協同労働等の視点から—

令和3年度 共同研究について

新しい時代の地域づくりの担い手創出の方向性を検討し、持続可能で活力ある地域社会の実現に向けた政策提言を行うことを目的として研究を進めてきました。

ひとくちに「地域づくりの担い手」と言っても、人口規模や都心からの距離などの前提条件により、方向性は大きく異なります。そのため、本共同研究では埼玉県内の地域を4つのパターンに分け、それぞれに合致した具体的な提言を行っていきます。

令和3年度 共同研究コーディネーター



まきせ みのる

**牧瀬 稔 氏**

関東学院大学法学部地域創生学科准教授

社会情報大学院大学特任教授

■対象 県・市町村等の職員、企業、NPO、大学関係の方をはじめ、御関心のある方 **どなたでも!**

■定員 各対象合計200名(先着順)※定員を超えた場合のみ連絡します。

■申込期限 令和4年2月7日(月)定員になり次第締め切り。

■申込方法 彩の国さいたま人づくり広域連合のホームページ又は右記、二次元コードからお申し込みください。

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/seisaku.htm>

■お問合せ 彩の国さいたま人づくり広域連合 政策研究担当

TEL : 048-664-6685

申込フォーム



## 政策研究成果発表会 オンライン参加に当たって

- 本発表会はZoomを使用します。アプリのダウンロード等事前の環境設定をお願いします。
- 前日までに順次、必要な参加URLを御登録いただいたメールアドレスへご案内いたします。
- 参加URLは再配布禁止です。
- お申込みの際に取得した個人情報は受講管理のみに使用し、他の目的には使用しません。
- **映像の録音、録画、画面キャプチャー(スクリーンショット)は禁止です。またSNSなどへのアップも禁止します。**
- 主催者側ではオンライン映像のキャプチャー(スクリーンショット)写真を当広域連合のホームページやSNS等で掲載いたしますので、ご了承ください。
- 参加に関わる技術サポートは提供しません。
- マイクはミュート設定で参加してください。
- 基調講演、共同研究の成果発表の際はマイクをミュート(OFF)にして参加してください。  
なお、共同研究の成果発表の終了後に、発表内容に関する質疑の時間を設けます。

## オンライン参加手順

